

# 20160624 蔵前ゼミ (通算 第 57 回)



講師の額田さん



講演中の額田さん



会場風景 (すずかけ台, J221 講義室)



ゼミ後半のパネルディスカッション



交流会 (J2 棟 20 階ミーティングルーム)



交流会で学生と話す額田さん (中央)



交流会の司会 (安藤さん), 開会挨拶 (太田さん), 閉会挨拶 (錦織さん)

◆**太田さんの挨拶**：額田さんがおっしゃった「人の役に立つ仕事ができる幸せ」というのはいいですね。孔子の言葉「己の欲せざるところは人に施す勿れ」(論語)を思い出しました。前回はダイバーシティで、今回はワーク ライフ バランス (WLB) に関する話でした。経営者 自らが育休をとったケースがあります。日本ではサイボウズの青野慶久社長、米国ではフェイスブックの Mark E. Zuckerberg が話題になりましたが、いい経営者ならば育休をとっても会社は成り立つことを示しました。日本の企業も Red sea (既存のマーケット) だけでなく、広

い Blue ocean (新しい未知のマーケット) を切り拓いて、ちゃんと仕事をすれば、育休問題に悩まずに済む気がします。WLB の推進は、公務員が手本となるような政策がとられています。企業も社会に対する税金と違って真剣に取り組むべき課題でしょう。

◆**錦織さん**：私の学生時代は 1 学年約 300 名で、そのうちの 9 割近い学生が社交ダンスをやっていました。全国的にも突出した多さでした。私などは、社交ダンス教習所で先生をしていましたから、勉強熱心だったとはとても言えません。それでも旭硝子の専務になれたのは、入社後は次のように自問自答しながら働いたからです：『一番頑張っているのは誰？ 私でしょう！』。他人はそうは思ってくれないかも知れません。しかし、自分でそう思えるように努めれば、いい仕事ができます。流行語大賞の“今でしょ！”にあやかって、“私でしょ！”でいきましょう。